

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 フォレストデイセンター鹿ノ台 保護者等数(児童数) 33 回収数 20 割合 61 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	19	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切である	17	1		2	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	19	1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	19	1			いつも手厚く見て頂き感謝しています。本人も毎回行くのがとても楽しい様です。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	20				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	19	1			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	18	1		1	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	20				
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	9	2	3	6	・高齢者の方々との交流があったとのこと、今後も増えると、子どもの成長に良いと思います。 ・下の子が活発なので、幼稚園等の送り迎えだけでは交流が難しいので、自分でいろんなところに出向き知らない子供と遊ぶ機会を作らなくてはと思います。
適切な 支援の 提	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	19	1			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	19	1			
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	17	3			
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	4			コドモンのアプリを利用しているので毎回の様子も写真つきで分かりやすく教えてくださり安心してこどもを預けられます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	18	2			
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	11	4		5	
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	20					

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
供	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	18	1	1		<p>・お迎えの際に他の子の親と話していることが多く、自分の子の様子や話があまり聞けない。例えば、親が来た順に一人ひとり並んで挨拶して帰るなどの形を取るなどできれば、もう少しその日の子ども様子やお話しが聞けるのではと思う。</p> <p>・お話しはしたいなと思っていても、二人共走り回るのでなかなかゆっくりお話しすることが出来ません。幼稚園のお友達ママ達の場合もそうです。両親も高齢なので、なるべく心配はかけたくないので、一人で溜め込みがちでたまに、子供達に感情的に怒ってしまって落ち込みます。馬見丘陵公園にひまわりを観に行ったとき同い年や年の近い子供達と遊んだら気持ちが晴れたので、そういう機会をもっと作らないといけないのかもしれない。なので、車で行ける範囲を増やしていく予定です</p>
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	13	1		6	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	16	1		3	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	10	4		6	避難訓練を定期的に行っているとは聞いたことがないです。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	2	2	11	あまりそういうことを話ししてくれる感じは無いので、お知らせが来てそうなんだと知るくらいです。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	17	3			<p>・毎回とても楽しみにしててくれるくも幼稚園もどちらも楽しいと言っています。先生が温かく見守ってくださってるおかげだと思います</p> <p>・まだ、子どもがようやく慣れてきたところです。ただ、えるくの日だという認識と、保育園との切り替えは出来てきているように見えます！</p>
	23	事業所の支援に満足している	19	1			先生達は、よく褒めてくれるし、気にかけてくださっているので助かります。いつもありがとうございます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 21日

事業所名 フォレストデイセンター鹿ノ台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		
	2	職員の配置数は適切である	2	2	・職員の急な休み等で対応の難しい時もある。休憩交代の時など、他部署の応援をお願いしている。 ・子どもの安全面を第一として、できるだけ余裕のある人員配置であればと考えます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	・設備の導線がわかりにくい、繰り返し一緒に使い伝えるようにしている。 ・トイレの数が少ないため、使いやすい環境とはいえない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	2	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・月1回行っている
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4		・月担当を決めて作成
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・時間を決めて行うようにしている。送迎や相談等で抜ける職員もいるので、連絡シートをチェックすることになっている ・事前打合せを安定的に行いたい
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・活動の様子を振り返る時間を設けているが、送迎等で全員そろわないこともある。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4		・何か気になることがある時は、電話で情報共有するようにしている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4		・訪問できない時は、電話する等で対応している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	・保護者を通して就学先へ伝えてもらうようにしている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	・あすなる等、1日の流れを見学させて頂く機会があれば良いと思います。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	2	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1	・療育相談を行い、課題を共有。支援の方法を伝えている
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	・祝日を利用して親子教室を行ったり、夏祭り、クリスマス会等で保護者に参加して頂き交流を持てるようにしている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	・会報はないが、月の予定や療育内容を伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		・マカトンサインやジェスチャー等、共有できるようにしている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	1	・法人のマニュアルはある。児童発達支援事業所に特化したマニュアルも策定予定。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	1	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	・指示書の提出はなく、保護者と相談し除去している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		・記入忘れがないよう心掛ける
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	2	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	・現在対象者はなし。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。